

第25週の発生動向(2007/6/18~2007/6/24)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. インフルエンザについては、減少しています。型別については、迅速診断キットにより、弘前保健所管内でA型:3人が報告されています。

第25週五類感染症定点把握

注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ	16	1.14	3	0.20					3	0.33			22	0.34	-14			16	1.33
(72) RSウイルス感染症							1	0.20					1	0.02	0				
(73) 咽頭結膜熱	15	1.67	6	0.67	6	0.67			25	4.17	2	0.50	54	1.29	-7	3	3.00	12	1.50
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.89	15	1.67	3	0.33	1	0.20	10	1.67	9	2.25	46	1.10	-2			8	1.00
(75) 感染性胃腸炎	20	2.22	29	3.22	3	0.33	12	2.40	3	0.50	13	3.25	80	1.90	-14	4	4.00	16	2.00
(76) 水痘	1	0.11			14	1.56	4	0.80	19	3.17	7	1.75	45	1.07	-16			1	0.13
(77) 手足口病	9	1.00									2	0.50	11	0.26	7			9	1.13
(78) 伝染性紅斑	1	0.11			1	0.11	1	0.20	7	1.17	6	1.50	16	0.38	4			1	0.13
(79) 突発性発疹	2	0.22	5	0.56	7	0.78			2	0.33	6	1.50	22	0.52	7			2	0.25
(80) 百日咳															-1				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	8	0.89	41	4.56					1	0.17	1	0.25	51	1.21	3			8	1.00
(83) 麻疹(成人を除く)															0				
(84) 流行性耳下腺炎	17	1.89			12	1.33	5	1.00	2	0.33			36	0.86	-8			17	2.13
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33			3	3.00					5	0.45	0			1	0.50
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					3	3.00	7	1.17	3				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む) 報告数は速報値です。

- (9) 結核(二類全数把握疾患) 各保健所管内: 青森市:4人,弘前:2人,五所川原:1人,上十三:1人 (19年計:62人)
 (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 上十三保健所:1人 (19年計:5人)

感染症の窓

手足口病

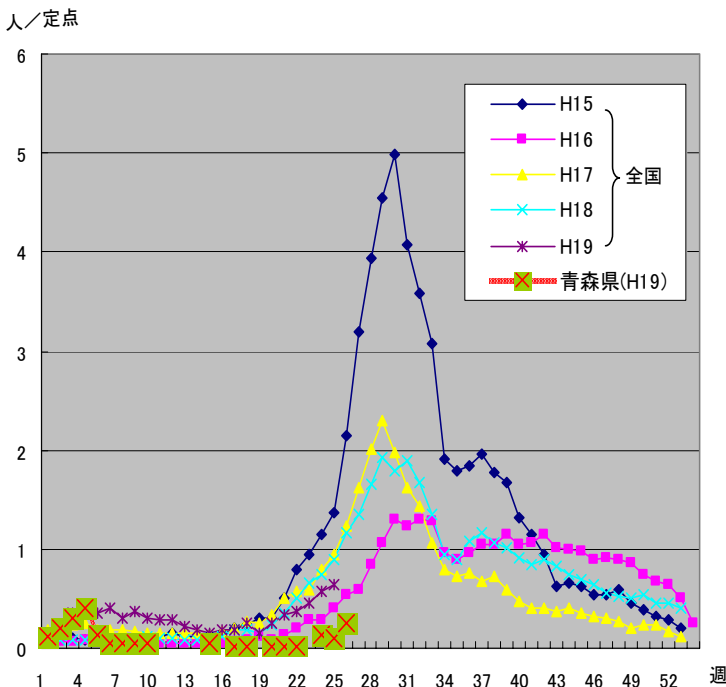


図 手足口病の全国の発生状況

手足口病は、主として乳幼児に見られ、手、足、口腔内に小水疱が生ずる伝染性のウイルス性感染症です。

過去5年の全国の発生状況を見るとこれからの時期に患者が増える傾向にあります。

今年は、本県においても、全国と同様に増加傾向にあることから、今後の注意が必要です(図参照)。

本疾患の原因ウイルスとしては、コクサッキーA16型、エンテロウイルス71型、コクサッキーA10型等が知られていますが、原因ウイルスが数種類あるため、一度感染して免疫を得ても、他のウイルスに感染して再度発症する可能性があります。

ワクチンがないので、予防には、患者の排泄物の取扱いに注意することと手洗いの励行が必要です。